

林業ミニ情報 No.174

令和7年2月

- 1 中国木材株式会社鹿島プレカット工場新築工事地鎮祭について
・・・・・・・・・・ 1
(鉾田林業指導所 綿引)
- 2 ナラ枯れ被害拡大防止のための森林ボランティアの指導について
・・・・・・・・・・ 2
(筑西林業指導所 菅井)

タイトル	中国木材株式会社 鹿島プレカット工場新築工事地鎮祭について
年 月 日	令和6年9月18日（水）
場 所	鹿嶋市大字平井
内 容	中国木材（株）では大型プレカット工場を鹿嶋市に整備するにあたり、令和6年9月18日に新築工事の地鎮祭を行いました。 住宅業界を取り巻く環境は少子高齢化・住宅価格の高騰などにより一層の厳しさが予測される中、公共建築物や民間の非住宅・中高層建築物における木造化が推進されています。また、令和3年の製材輸入量の減少、輸入木材・国産木材の価格上昇（いわゆるウッドショック）の影響により、国産木材が見直され、今後は国産木材を利用した建築需要の伸びが期待されています。 新たに整備する工場では、構造用大断面集成材のための特殊加工機を導入する予定であり、関東圏においてプレカット受注を増やし、シェアを拡大する計画です。 これにより、他社からの構造用大断面集成材の加工も受注可能となり、新たなプレカットの供給体制が構築されることで、地域全体の供給力の維持・向上が図られ、国産木材の更なる利用拡大が見込まれます。 また、同社の構造材の生産拠点である中国木材鹿島工場と隣接するため、物流エネルギー削減による環境問題への貢献も期待されます。  
普及成果	当林業指導所では、引き続き国産木材利用拡大のため、支援していくとともに、このような木材産業の話題について、今後も情報共有を図ってまいります。

R6. 普及ミニ情報（令和7年2月）

（筑西林業指導所 菅井）

タイトル	ナラ枯れ被害拡大防止のための森林ボランティアの指導について
年 月 日	令和6年9月～11月
場 所	筑西市 上野地内
内 容	筑西市の旧関城町を中心に活動を行っている森林ボランティア団体「NPO 法人里山を守る会」（以下、里山を守る会）から、活動フィールドの一つである「五郎助山」においてカシノナガキクイムシ（以下、カシナガ）によるナラ枯れ被害の疑いがあるので確認してほしいとの相談が9月上旬にありました。当指導所において現地調査を行ったところ、フラス及び穿入孔の大きさ等からカシナガによるナラ枯れ被害であることが推定されたため、9月末にカシナガ捕獲用粘着シートの設置等による被害対策の指導を行いました。 被害のあった林分はコナラを中心に構成されており、約1haの林内で推定樹齢50年生以上のコナラ20本以上において被害が確認されました。そのうち1本は枯死していましたが、その他のコナラは生存しており、フラスの状況等から前年に加害されていると推測されるものもありました。 成虫の脱出のピーク（6～8月）は過ぎていましたが、試験的に穿入孔の多い10本の被害木について、里山を守る会の会員とともにカシナガ捕獲用粘着シートを設置しました。 11月に一部をはがしてみたところ、少数ながら成虫が捕獲されたことから、9月以降も脱出していることが確認できました。
普及成果	里山を守る会の会員にカシナガによるナラ枯れ被害の対策について理解を深めてもらうことができました。今後も、次の成虫の脱出のピーク（6～8月）に向け、被害対策について指導を続けることで、活動フィールド内での被害軽減を図っていきます。



カシナガ捕獲用粘着シートの設置状況